

一般質問

平成十七年十二月十二日(月)・十三

日(火)・十四日(水)の三日間にわた

り、二十七人の議員が一般質問を行い、

市政全般にわたる問題について、市当局

の見解を求めました。



デュアルモードビークル

質問 デュアルモードビークルについて、わたらせ(わたらせ渓谷鐵道)

渓谷鐵道や上毛電鉄への導入について研究できないか。

回答 デュアルモードビークルは、JR北海道で開発を進めている「道路とレールの両方を行き来できる新しい乗り物」と認識している。バスと鉄道の乗り換えなしの移動が可能というメリットがあるが、現在は試乗車の段階であり、実用可能となるのは二、三年後と聞いている。今後の交通ネットワークシステムの中で会社がどう捉えるか、桐生市として有効な交通手段か実用化後の課題としたい。

質問者

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|---------|
| 周石津 | 藤井久 | 雅秀博 | 彦子人 | (クラブ21) |
| 天周 | 沼東 | 照好吉 | 威二雄 | (友和会) |
| 長山 | 尾口木 | 好吉恵 | 郎司司 | (日本共産党) |
| 山荒 | 藤野上 | 健剛和 | 八幸猛 | (山紫会) |
| 近吉 | 田田中 | 米 | 蔵始男 | (公明クラブ) |
| 山町 | 原井田 | 正 | 宏秀文 | (新和会) |
| 中河 | 田口下 | 清崇正 | 宣弘雄 | (くろほね会) |
| 鴨関 | 沢口谷 | 昌貞成 | 璋一郎 | (クラブ21) |
| 森相 | 藤佐阿 | 信秋竹 | 夫志乘 | (友和会) |
| 寺細 | 久津部 | 秀 | 智 | (新声クラブ) |
| 佐阿 | 井木牧 | | | (新和会) |
| 久津 | 山 | | | (くろほね会) |
| 部井 | | | | (友和会) |
| 木牧 | | | | (クラブ21) |
| 山 | | | | (公明クラブ) |
| | | | | (クラブ21) |
| | | | | (日本共産党) |
| | | | | (友和会) |
| | | | | (クラブ21) |
| | | | | (友和会) |
| | | | | (日本共産党) |
| | | | | (友和会) |
| | | | | (日本共産党) |

よりよい保育環境

質問 保育園に対する第三者評価制度の導入をどのように考えているか。

回答 第三者評価制度は、福祉事業が措置から契約に変わる中で、「福祉サービスの質の向上のための措置等」として位置づけられた。認証評価機関は県内に六団体あるが、受審料が必要なことや、制度自体が複雑であることから、なかなか普及していないのが現状である。保育の方向を再確認するためにも、事業者を選択する



(市内の保育園)

判断材料に資するためにも有効な制度と考えており、今後一層の啓発に努めていきたい。

医療法と医療計画

質問 桐生保健医療圏の病床数の変動はどうなっているか。また、平均在院期間と病床利用率はどうか。

回答 現在の群馬県保健医療計画は今年度からの五年計画で、桐生保健医療圏の基準病床数は千八百四十三床である。前回の計画より二百二十六床減ったことになるが、直ちに削減しなければならぬわけではなく、実際に現在も千九百四十五床が継続されている。平均在院期間と病床利用率



は平成十五年度が三十八・二日、八十二・四パーセントであり、平成十年度と比べ、ほぼ横ばいである。(桐生厚生総合病院)

健康診査

質問 新里・黒保根地区の健康診査は、今後どう進めていくのか。

答弁 基本健診科目は老人保健法で実施しているのが、桐生地区と差はなく、従来選択項目であった心電図及び貧血検査が今後は必須項目になる。桐生市ではかかりつけ医で受診でき、結果によってはすぐに対応できることや、医師から直接結果や病気の予防対策まで総合的に指導や助言が聞けるなどの良い点があるので



(新里支所)

個別健診を実施しているが、新里町と黒保根町の健康づくり推進協議会などの意見を聞きながら決定したい。

汚水処理

質問 汚水処理施設整備の推進と今後の予定について(清掃管理事務所)



てはどうか。

答弁 下水道整備事業については、事業計画に基づき特に効率性を勘案して、人口集中地域を優先し事業を進め、未整備地区も事業認可期間延長の手續きを行いながら推進に努力していきたい。農業集落排水事業は十三塚地区を事業着手し、残りの三地区については、新市全体の計画で再検討したい。なお、浄化槽市町村整備推進事業については、先進事例など勘案しながら「新市の汚水処理計画」の中で研究していきたい。

高齢者福祉施策

質問 高齢者虐待の把握と虐待に関する市の考え方、養護する人への支援はどうか。

答弁 高齢者虐待の支援については、在宅介護支援センターを中心に、市や民生委員と連携をとりながら迅速に対応している。また、養護する人に対しては、お互いが自立した生活ができるよう支援し、福祉サービスを補完して家族の介護力を補えるよう支援している。市では、平成十八年度より

包括支援センターの設置を予定し、介護予防事業を推進するほか、ネットワークを強化し迅速に対応する。



(新里支所)

行財政改革

質問 桐生市行財政改革の断行について、どのような(黒保根支所)



に考えているのか。

答弁 国の三位一体改革で、国庫負担金や地方交付税の削減が示されたが、具体的な数字については、現時点では不明である。市の行財政改革は、限られた財源や減少しつつある財源を有効に活用し将来にわたり市民生活の安定を維持し、向上に努めるために行うものである。合併後初めての予算編成にあたり、職員一人一人が行財政改革に積極的に取り組み、市民の理解と協力を得ながら確実に実行することが重要である。

近代化遺産の活用

質問 近代化遺産であるのこぎり屋根工場を使用した球都桐生野球博物館を建設したらどうか。

答弁 文化財登録制度は文化財をゆるやかに守り、活用しながら保存していくもので、桐生市では、近代化遺産の国への登録を進めている。のこぎり屋根工場はほとんどは個人所有の建造物のため、球都桐生野球博物館への活用を推進していくには所有者の事情もあって難しいが、運営形態や



(のこぎり屋根の建物)

運営管理費などの課題もあるため、関係部署などと十分検討して、前向きに進めていきたい。

児童・生徒の安全確保

質問 児童・生徒の登下校時の安全確保と対応策(通学の様子)



は、どうなのか。

答弁 最近、痛ましい事件が発生しており、児童・生徒の安全対策のため、学区単位で通学路の安全点検、集団登下校、関係団体による防犯パトロールなどを実施し安全確保に努めている。なお、防犯カメラを平成十八年度は幼稚園・小学校に、平成十九年度は中学校に設置して犯罪の未然防止に努めたい。今後とも保護者、行政、地域、学校、警察などが連携し、地域の子供は地域全体で護り、犯罪の防止に努めていきたい。

市長の市政執行上の問題点

質問 行財政改革の断行について、大切な政策は市民の理解が必要であるが、市長の進め方に問題はないのか。また、今の合併は変則で市民の納得は得られていない。みどり市との合併は考えているのか。

答弁 現在取り組んでいる行財政改革は、方針の作成に民意を反映させるために市民による委員会を作り、審議を公開とした。合併はお互い理解した上で進めてきて、その中で一市二村の



(市役所)

合併が行われた。なお、みどり市との合併は必要と認識しているが、相手の意向と機運が重要である。

介護保険

質問 介護保険料が来年度値上げと見込まれている

(介護保険課)



が、サービスが増えると保険料の値上げに連動してしまうものなのか。また、低所得者が介護サービスを受けるための負担を軽減する制度を考えているか。

答弁 介護保険料は、入所施設による保険料に対する影響は大きい。緊急度の高い人が早い時期に入所できるように、施設整備については、県に働きかけを続けていきたい。また、負担を抑えるための軽減については、制度上で活用できる軽減策を取り入れ、きめ細かい対応に努めたい。

学童保育

質問 新里地域でも、各小学校の空き教室を使った

(市内の小学校)



学童保育ができないか。

答弁 新里地域では、人口増に伴い学童保育を必要とする児童も増加しているが、保育園や幼稚園の協力を得て学童保育を実施しており、今年度、次世代育成支援計画で掲げた全小学校区に設置することができた。学童保育について、小学校はもともと適した場所と理解しているが、新里中央小、新里東小では余裕教室がなく、実施は難しいが、児童の利用状況を把握しながら、放課後の児童の保育サービスの充実を図りたい。

地域医療

質問 大分県にある中津市民病院の経営内容が順調と聞くが、桐生厚生総合病院も参考にして研究したらどうか。

答弁 中津市民病院は、国立病院当時に累積赤字があったが、市民病院へ移管後黒字に転じた事例として承知している。桐生厚生総合病院においても、地域全体で地域住民の医療を支えられるよう地域連携室を設けたり、安定した病院運営を行うために経営面でも努



(桐生厚生総合病院)

力したりしている。中津市民病院の事例について、資料の送付を受けており、研究をしていきたい。

学校教育

質問 戦後六十年の今、学校では昭和の歴史をどのように教えているのか。

答弁 中学校の歴史では、昭和初期から第二次世界大戦終結までは、経済の混乱と社会問題の発生、軍部の台頭から戦争までの経過、戦時下の生活や大戦の惨状を理解させ、国際協調や国際平和の実現に努めることの大切さに気付かせるよう配慮している。大戦後は、国家の再建と民主化を目指して様々な改革が進められ、



(市内の中学校)

国際社会への復帰を果たした経過と今日の発展を築いていったことを気付かせるよう指導している。

道路環境整備

質問 北関東自動車道路の進ちよく状況と、(仮称)敷塚インターからの道路整備計画はどうか。

答弁 北関東自動車道路の群馬県内分は、用地買収はほぼ完了し、盛土工事は、すべて発注され順調に進ちよくしている。また(仮称)敷塚インターからの新里町、黒保根町への道路の整備計画は、県道桐生伊勢崎線までの県道大原境線を四車線道路として道路拡幅整備が進められている。ほかに、



国道五〇号バイパスから新里町を経て国道一二二号に至るルートが、桐生広域圏幹線道路網構想としてある。(拡幅工事中の県道)

平成十八年度予算編成

質問 合併による激変を緩和する措置として、旧黒保根村の税金や使用料、手数料などはどうなるのか。

答弁 合併協議会で協議され合意された事項については、予算編成にあたり遵守することを基本姿勢としている。税金や手数料については、個人・法人住民税、固定資産税などの税金は、現行のまま引き継がれ、国民健康保険税は、平成十八年度から均一課税となる。また、納税証明書などの各

(黒保根支所)



種手数料は、合併前の桐生市の料金に統一された。これらに基づき、現在平成十八年度予算の編成中である。

子育て支援

質問 国の三位一体改革により児童手当と児童扶養(こども育成課)



手当の補助金が削減されるが、財源はどうなるのか。

答弁 児童手当は小学校三年生までの児童を養育している保護者に、児童扶養手当は母子家庭などの保護者に支給される手当である。桐生市でも少子化対策は重要な課題であるが、国の三位一体改革により国庫補助が三分の二から三分の一に減り、その分市の負担が増え、更に児童手当支給年齢が六年生まで拡大されると、どれだけ負担増になるか分からないが、財源確保に苦慮している。

公営バス

質問 合併後の公営バスについて、今後どのように(黒保根町のバス)



取り組んでいくのか。

答弁 市内の公営バスは、おりひめバスのほか、新里町内及び黒保根町内に各二路線を民間に運行依頼しているが、現在各バス事業者との運行契約などの一元化に取り組んでいる。運行体系の見直しについては、委員会の組織を立ち上げ、早期に検討していきたい。なお、交通弱者の足を確保することは大切であることから、三月に隣接して誕生するみどり市とも話し合い、かつての広域圏全体のバス路線を守るよう努力したい。

鳥インフルエンザ

質問 鳥インフルエンザの人への感染が猛威を振るい、人から人へ感染する新型インフルエンザが心配されるが、初期症状や対処方法はどうか。

答弁 現時点では、人から人への感染は、確認にされていないが、鳥インフルエンザの症状は、発熱、せきなどの症状に加え、下痢の症状もある。インフルエンザの治療には、抗ウイルス剤のタミフルが用いられるが、個人では自由に買

子供の安全

質問 広島市、今市市において小学生の殺害事件が(通学の様子)



起き、緊急な対策と行動が求められる今こそ、「子供を守るまち安全宣言都市」を宣言することが犯罪の抑止力になると考えるがどうか。

答弁 先般相次いで発生した児童殺害事件から、日常の安全の大切さを痛感している。桐生市としても、「子供を守るまち安全宣言都市」の宣言は、重要かつ緊急な課題であり、関係機関と協議して早急に進めたい。なお、職員による安全パトロールには腕章を着用して行うようお願いし、犯罪の未然防止に努めている。

定率減税の見直し

質問 所得税で、最高所得率が五十パーセントから三十七パーセントで高所得者の優遇、また、定率減税が廃止で、庶民の所得税・住民税は増税となるが、

年収八百万円の所得者で十九・五パーセント増、五百万円では二十一・八パーセント増、三百万円では、二十・三パーセント増となると思うが、間違いはないか。

答弁 定率減税が廃止の場合、そのような数字になるが、定率減税の見直しに

(桐生厚生総合病院)



ことができず、保険医療機関に受診して、医師の処方せんにより、調剤薬局で取り扱われている。

(市役所)



については、現在、自民党税制調査会などで検討がされており、今後の動向を注視していきたい。

自治会組織

【質問】 行財政改革方針にもある行政協力委員制度の

(市役所)



廃止と、自治会組織への移行はどうかっているのか。

【答弁】 現在、平成十九年度末をもって、行政協力委員制度から、自治会組織への移行が図れるよう調整を進めている。元来、既存の自治会、町会の役員を行政協力委員として、委嘱してきた経緯があり、制度が廃止されても、元々の自治会組織に特段の変化はないと考えるし、制度の移行を契機に自治会として活動しやすい組織への改編の希望についても調整させていただきたいと考えている。

郷土資料調査事業

【質問】 地味な作業で、手間暇、知識の要求される郷土資料の調査事業の現況は

どうかっているのか。

【答弁】 桐生市の貴重な文化遺産である郷土資料も、近年、資料所蔵者による土蔵解体などに伴い、貴重な資料の散逸が見受けられ、今後資料の拡散がさらに進む恐れがある。このことから、本年度から郷土史に造詣の深い六人の郷土史家に「郷土資料調査委員」をお願いし、資料所蔵者宅に保存

されている古文書などの保存状態の確認作業に活動していただき、調査を進めているところである。

(桐生明治館)



公共交通網

【質問】 平成十八年の春にJR新宿駅と東武日光駅・鬼怒川駅間で直通運転が開始されると聞くが、JR新

宿駅と新桐生駅間の相互乗り入れの可能性と湘南新宿ラインが開始し、本数を拡大するというがどうか【答弁】 軌道交通対策として、各種の期成同盟会を通じて、JR東日本と東武鉄道に、輸送力の増強、利便性の向上など、基幹交通としての機能・役割をさらに充実してくれるよう要望活動

している。しかし、新たな経営資源の投下は容易なことではないが、今後さらに働きかけていきたい。

(東武電車)



農林業振興

【質問】 新里・黒保根地域が入り、桐生市の産業構造も農林業が拡大したが、農林業振興の基本計画を立てて、取り組む必要があると思うがどうか。

【答弁】 合併により、県内でも有数の農畜産業地域と

林業地域が加わったが、現在農業では、従前の二村の農業振興地域整備計画を基本とした「桐生市農業振興地域整備計画」を作成すべく基礎調査を行っており、林業についても、各地区の

(新里地区農業祭)



旧森林整備計画を統合した新たな「桐生市森林整備計画」を作成するための事務を進めている。

夏休みの短縮

【質問】 夏休みを一週間短縮しても、土・日曜日を除

(市内の小学校)



けば実質五日間しか増えず、これを実施することの効果はあるのか。また、全国的な傾向はどうか。

【答弁】 夏休みの短縮については、群馬県内でも五十八市町村のうち、三十四市町村で実施しており、全国的にも増加傾向である。短縮により確保された日数に

ついては、体験学習、地域ボランティア活動、生徒会活動、進路指導など、各学校の実態に応じた教育課題の解決のための効果的な特色ある教育活動が展開できるものと考えている。

介護保険制度

【質問】 合併後、初めての平成十八年度予算編成が行われる中で、介護保険について大きな変化となると思われるが、どのような状況なのか。

【答弁】 十月から、施設サービス費が改正されたため平成十八年度から始まる第三期介護保険料は、サービス量の見込みが適正かどうかの群馬県のヒアリングがあり、保険料推計の基となる指導が行われる。その後平成十八年一月下旬に介護

報酬額の確認後、介護保険料を算出することになるが、かなり引き上げられることになると考えている。

(市役所)

